

三股町政だより

行北町
所
縣
役
番
鶴
所
雄
印
都城市
印
野口紙印刷部

三股町議會

農地農業用施設の災害復舊費

分担金徵收條例を議決

町は耕地災害復旧の促進とその完全なる実施を図るため去る二月二日臨時町議会を招集して、耕地の災害復旧費分担金徵收條例を上程しましたが、議会は災害を受けた農民の立場並びに町財政面等から、慎重なる審議を行ひ、更にこれを議会総務委員会に付託して細部の検討を行つた外、二月二十二日煙草納税所において、この条例に対する公聽会を開き土地改良区の代表者を始め耕地災害復旧に接する利害關係を伴う人々の意見をきいた上、二月二十四日再び臨時議会を開いて、この条例が制定されました。

昨年の四回にわたる台風、外町が起債をすることが

禍に純農村である本町の耕地や、その施設は想像に絶

する致命的な災害を蒙りました。

今やこれ等耕地の災害復旧問題は、農民の死活問題として

として私達の眼前に横たわ

つております。宿命的に台風の通路に位

していの私達の郷土は、又

生れ乍らにしてこの台風と戰はねばならぬ宿命を帶

びているわけです。

勿論私達はいまでもこの

耕地災害復旧に努力して

これが復旧による費用は

年に千二百八十三万三千円

と云う甚大な額に上つております。

この条例の目的で

この条例によつて、町が

事業主体となり、工事を行

うことになりますと、その

事業費について國庫補助金

第三条 分担金は、その事業費の内、國及県費補助金

火元にはなりたくないねお母さん

春季火災予防運動週間

三月七日から一週間

統計的に見ま

すと、春は全国

の、もつとも

火災発生の多い

時期とされてお

ります。

寒い冬もすぎ

季節も折角没事に過ごし

て、火の取扱い

率も漸く少くな

ります。

この条例によつて、町が

事業主体となつて、完

全な災害の復旧を行わうと

ります。

この条例の目的であ

復舊費分担金徵收條例

三股町農地農業用施設の災害

はその補助年度や資金面の

現文のまゝ記載します。

この規則は公布の日から施行する。

と同様に直ちに、補助や起

債金が入手出来る。と云う

と同時に直ちに、事業施工

<p

これから畜産

(二)

経済課畜産係

先月は畜産の在り方について、その概略を説明したのであります。今回は家畜の飼料のことについて話を進めて見たいと思います。

家畜の飼料について

飼料と家畜がその生命と健康を保つてゆくための餌であり、又その成長と家畜が生産する色々の畜産物の原料となるものであつて、前者を維持飼料と云い後者を生産飼料と云つております。

皆さんのが畜産を飼育する

家畜の栄養について

家畜が必要とする栄養分には、蛋白質、脂肪、炭水化物、無機物、ビタミン等五種があります。飼料にはこれ等の栄養分が適度に含まれていなければなりません。

家畜がその生

命と健康を保つてゆくための餌であり、又その成長と家畜が生産する色々の畜産物の原料となるものであつて、前者を維持飼料と云い後者を生産飼料と云つております。

皆さんのが畜産を飼育する

には、先づ飼料自給の見透しと計画を立てるべきです。飼料自給の見透しもつかず家畜導入の計画だけで、農業經營を農業經營にしようとする考え方では、結局畜産經營の失敗を意味するものであります。

皆さんのが畜産を飼育する

蛋白質

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

炭水化物

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

脂肪

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

無機物

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

ビタミン

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

飼料

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

無機物

蛋白質は血や肉となり更に、胚芽化合物で

カルシウム及食塩の一日の給與量

畜種/区分	飼料	塩
牛	三〇一~一〇〇グラム	六〇一~五〇グラム
馬	二〇一~五〇グラム	二〇一~三〇グラム
羊	一〇一~二五グラム	一五~三〇グラム
豚	五~一〇グラム	一五~三〇グラム
鶏	〇五~一〇グラム	四~八グラム

又は骨粉

炭酸カルシウム

骨粉

骨粉